

委員会審査

総務文教

審査の主なもの

○平成25年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
 学校管理費 555万7千円

統合後、児童通学の安全のために



スクールバス乗降場整備予定地
 写真奥が黒木小学校

学校管理費555万7千円は、平成26年度より統合

する黒木小学校のスクールバス乗降場整備工事のための追加補正である。

問 黒木小学校スクールバス乗降場整備工事費について、工事の規模は。

答 敷地の広さは約1千㎡で、敷地内の水路をコンクリート打ちに変え、敷地内の段差には土ごめの擁壁をし、スクールバスが入る所のコンクリートがらを撤去して砕石敷きにする計画である。

問 平成26年4月以降乗降児童数は。

答 スクールバス利用予定の児童数は130名程度である。

問 1千㎡の敷地で130名の児童が一度に乗降できるのか。

答 一度に乗降するのは多少無理があるため、分かれて乗降することになる。

八女市国保直営木屋診療所廃止

平成26年3月末で木屋診療所が56年の幕を閉じる。主な理由として、医師の確保が困難であること。受診者が減少し運営状況が長年赤字体質にあり、今後改善の見込みがないこと。黒木町に一定の地域医療体制が確保できたこと。デマンド交通による交通事情が進歩したことが上げられる。

問 医師が定年延長になった時点で、地域地元住民への説明は実施したのか。

答 その時点で説明は行っていない。

問 クリニックくろぎの充実強化に向けてどのように進めるのか。

答 必要な備品の無償譲渡や、現在の受診者へできる限りクリニックくろぎへの引き継ぎを依頼していく。また、市より評議員と

して出ており、意見を述べ充実強化に努める。

問 デマンド交通は、山間地域にとつていまだ利用しにくい状況で、交通手段の改良が必要だ。

答 今後検証し、デマンド交通の充実を図る。

行政として地域医療に対する住民の不安感を払拭するため、全力で取り組んでいただく事。さらに、公立八女総合病院を中心とした医療体制の構築と、地

厚生

審査の主なもの

○平成25年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
 児童福祉総務費 946万1千円
 衛生センター費 1,680万円



議会の動き

11月

- 1日 議会報告会(～25日)
- 6日 定例全員協議会
公立八女総合病院企業団議会
決算審査特別委員会
- 7日 八女地区消防組合議会
- 10日 東京八女ふるさと会
- 11日 筑後6市議会議長研修
(鹿児島県始良市)
- 15日 厚生常任委員会
筑後6市議会議長会議員研修会
- 18日 八女中部衛生施設事務組合議会
- 19日 町村議会議長会広報研修会
- 21日 福岡県南広域水道企業団議会行政調査
- 26日 厚生常任委員会
- 27日 議会運営委員会
- 29日 森林環境税創設及び平成26年度税制に関する要望活動(地元選出衆議院議員)

12月

- 2日 平成25年第5回定例会(召集日)
全員協議会
- 3日 政府予算に関する実行運動(～4日)
- 12日 議会だより編集委員会
- 16日 予算審査特別委員会
厚生常任委員会
- 20日 平成25年第5回定例会(最終日)
- 24日 公立八女総合病院企業団議会
- 25日 八女西部広域事務組合議会
- 28日 八女市、立花消防団年末夜警巡視
(総務文教常任委員会)

1月

- 6日 全員協議会
- 7日 議会だより編集委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 15日 総務文教常任委員会
- 21日 県道玉名八女線改良促進要望活動

建設経済

審査の主なもの

○平成25年度一般会計補正予算	(全員賛成で可決)
農地費	1,500万円
林業振興費	667万8千円
商工振興費	1億400万円



ホクト株の第2工場建設始まる

今福工業団地最後の土地売買完了

農地費

県営中山間地域総合整備事業負担金追加の1500万円は黒木地区の花渡農道と立花地区の百田農道が主なもので、あわせて1億円の増工で、八女市の負担が15%になっているとのこと。

林業振興費

荒廃森林整備工事費追

加は、主に八女森林組合管轄で、間伐・下刈りあわせて約21ヘクタール増工とのこと。

商工振興費

ホクト株式会社土地2万4千㎡弱、常時雇用60人以上見込める。